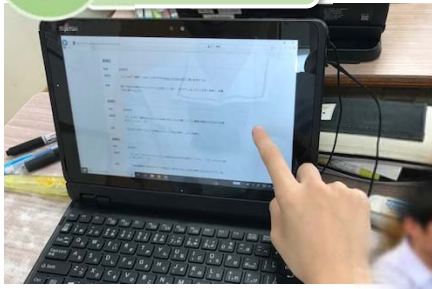


読書会の様子

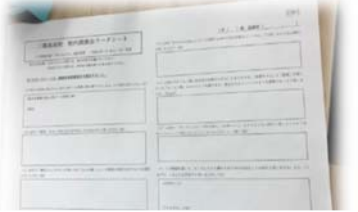
今回のポイントは「1人1台端末」で、読書会の事前資料を準備させた点です。このことにより、生徒は各自の都合がいいときに、意見を入力することが可能になりました。また、意見をタイピングさせることにより、手書きの時よりも意見の文字数が増えたようです。

1 導入



生徒は、学習用パソコンを立ち上げて、自分が回答したアンケートを表示します。各班の進行係が、レジュメに従って話し合いを進めます。話し合った内容は、班ごとに配布されたプリントにまとめます。それを図書委員が黒板にまとめます。

今回は、各クラス4問の設問について話し合うことになりました。



2 展開



班ごとに、活発な意見交換が行われていました。時々学習用パソコンの画面をのぞきあったり、自分の意見を披露しあったり、和やかな雰囲気を読書会が進められていました。

事前のアンケートに未入力の生徒がないことも、驚きでした。自分の意見を10行程度の文にまとめている生徒も多く、事前準備の質の高さが伺えました。

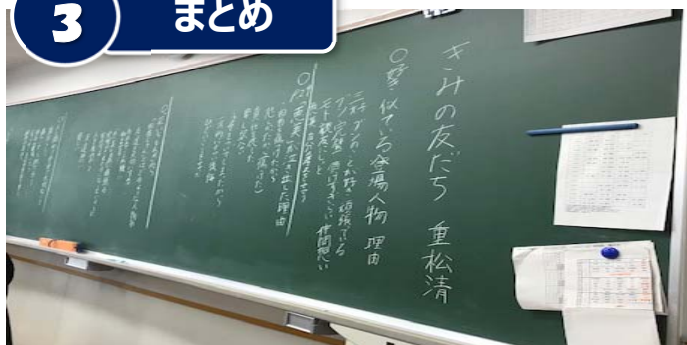
先生は投票機能を用いて生徒の意見を集約していました



班でまとめられた意見は、図書委員が黒板に集約していきます。一つの設問に対して、多様な意見が出る場合や、同じような意見であるにもかかわらず、表現が異なる場合があります。生徒は、他の班の意見から刺激を受けているようでした。



3 まとめ



最後に、クラス担任の先生の講評で、読書会は閉会しました。

読書会の事前資料を、学習用パソコンを活用したアンケートにすることで、事前に課題図書について考える時間をもつ生徒が増え、話し合いはいつも以上に増して活発で充実したものになりました。

また、最後に全生徒の記述内容が配信され、読書会後もお互いの意見を共有する時間をもつことができました。

本時の流れを確認

班別協議

クラス全体で意見を共有

クラスの意見決定

まとめ